

(様式3)

【地方公共団体の名称】

校務DX計画

令和2年度以降のICT環境整備として、1人1台端末導入、授業支援ソフトウェア等の導入により、教育現場のデジタル化を進めてきた。教員間においては、校務支援システムを導入し、伝達事項や各種資料を共有している。今後、校務DXを推進するために「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、具体的な取組を進めていく。

- 「GIGAスクール構想の下での公務DX化チェックリスト（令和5年度実施 令和6年3月29日確定値公表）」による自己点検結果から見えてきた課題

「GIGAスクール構想の下での公務DX化チェックリスト（令和5年度）」の結果から、湯浅町は町内小中学校全5校（分校含む）の平均は270.4点（和歌山県平均242.9点）となっていて、全国の様々な自治体の達成状況と比べると課題が大きくなっている。結果等より教育委員会および学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するうえで障害となる課題や、その解決策を記載する。

(1) 校務系及び学習系ネットワークの統合

現在、教育ネットワークを児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」、児童生徒が教育活動で利用する「学習系」の2つに分離しており、教員一人一人に校務用と学習用それぞれ端末を用意し、校務用端末は持ち出しを禁止している。今後、教員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、1台の教員用端末で2つのネットワーク（校務系及び学習系）を切り替えて利用できるようゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき適切にセキュリティを確保しつつ、校務系・学習系ネットワークの統合について検討を進める。

また、現行の運用において、学習系で生成されたデータと校務支援システムに蓄積された校務系データの連携が困難であること、自宅や出張先で校務処理ができないことなどの課題がある。

これらの課題についても、教員の働き方改革を推進するために、環境整備を検討していく。

(2) GIGA スクール環境やクラウドツールの活用

町教育委員会所管の業務については、電子メールや校務系ネットワーク上における共有フォルダの活用を通し、概ねペーパーレス化が進んでいる。一部紙媒体でのやり取りをしている業務について教育委員会内で整理し、より一層のペーパーレス化を進めていく。

クラウドサービスについては、「Microsoft 365」における各種アプリを活用し、調査の実施や会議資料、研修資料の配信を行うなど、その活用を進めている。また、他にも、町内小中学校職員がファイル管理や連絡事項、スケジュール管理、メールが

利用できるグループウェアを導入、さらに、学校からの文書配布や保護者からの欠席連絡等のやり取りができる連絡アプリを導入し、可能な限り汎用アプリや汎用クラウドツールの活用についても進めている。

今後は、本町教育情報セキュリティポリシーにおける情報資産の取扱いについて見直しを図りながら、クラウドサービスの活用によって一層効率化が見込まれる業務について教育委員会内で整理し、学校と保護者間、学校と児童生徒間においても、積極的にクラウドサービスを活用できるように支援していく。

(3) FAX・押印等の制度・慣行の見直し

現在、町内全ての学校においてFAXが使用されている。本町教育委員会と学校間でのやり取りについてはFAXの使用はしないことと決めているが、他機関とのやり取りについては今も使用しないといけない状況が続いている。また、保護者・外部とのやり取りで押印が必要な書類も残っている。今後は、より一層FAXや押印等について見直しを行うとともに、FAXでの送付や押印を求めている関係団体・事業者等にも見直しについて協力を求めていく。

(4) 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の改善

導入している校務支援システムは、町内小中学校での進学、転学に係る名簿等の情報については、システム内で連携が可能となっている。しかし、小学校入学時及び町外からの転入者の児童の名簿等の情報入力については、手入力で行っていることが多い。入学児童人数の減少により、手入力で行うことが負担にならない学校もあるが、個人情報ファイルの取扱いに十分留意し、CSV形式で作成した個人情報ファイルを取り込んで登録することを推奨していく。

(5) 教育情報セキュリティポリシーの策定

自治体の情報セキュリティポリシーを基に、令和2年度に教育委員会が作成した教育情報セキュリティポリシーを策定している。今後、国の方向性や現状を的確に把握しながら、クラウド上のデータやクラウドサービスを一層活用することを前提とした教育情報セキュリティポリシーとなるよう見直し、よりよい活用ができるように随時改正を行っていく。